

# 胃・大腸がん検診の実施体制

# 胃がん、大腸がん検診 市町村チェックリスト実施率

## 市町村チェックリスト実施率とは

がん検診の実施主体である市町村が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

## 令和4年度 市町村チェックリスト実施率

			胃X	胃内	大腸
問1. 検診対象者の情報管理 (4項目)	集団	R4	85%	67%	85%
		R3	(79%)	(61%)	(79%)
	個別	R4	88%	87%	88%
		R3	(89%)	(85%)	(89%)
問2. 受診者の情報管理 (2項目、胃内は1項目)	集団	R4	91%	90%	91%
		R3	(94%)	(92%)	(94%)
	個別	R4	78%	73%	78%
		R3	(83%)	(91%)	(83%)
問3. 受診者及び要精検者への説明 (3項目)	集団	R4	<b>40%</b>	<b>47%</b>	<b>40%</b>
		R3	<b>(42%)</b>	<b>(44%)</b>	<b>(44%)</b>
	個別	R4	<b>17%</b>	<b>13%</b>	<b>17%</b>
		R3	<b>(26%)</b>	<b>(27%)</b>	<b>(28%)</b>
問4. 精検結果の把握、 精検未受診者の特定と 受診勧奨 (6項目、胃内は5項目)	集団	R4	84%	80%	84%
		R3	(85%)	(83%)	(86%)
	個別	R4	<b>53%</b>	<b>51%</b>	<b>53%</b>
		R3	<b>(59%)</b>	<b>(58%)</b>	<b>(59%)</b>
問5. 地域保健・健康増進事業報告 (5項目)	集団	R4	88%	88%	87%
		R3	(96%)	(100%)	(90%)
	個別	R4	83%	77%	83%
		R3	(83%)	(85%)	(84%)
問6. 検診機関(医療機関)の質の担保 (7項目)	集団	R4	<b>30%</b>	<b>23%</b>	<b>29%</b>
		R3	<b>(28%)</b>	<b>(21%)</b>	<b>(25%)</b>
	個別	R4	<b>24%</b>	<b>22%</b>	<b>25%</b>
		R3	<b>(18%)</b>	<b>(18%)</b>	<b>(21%)</b>

			胃X	胃内	大腸
問7. 受診率(受診者数)の集計 (4項目)	集団	R4	91%	96%	91%
		R3	(89%)	(75%)	(89%)
	個別	R4	85%	83%	85%
		R3	(91%)	(91%)	(92%)
問9. 要精検率の集計 (4項目)	集団	R4	87%	86%	87%
		R3	(87%)	(75%)	(86%)
	個別	R4	75%	71%	75%
		R3	(90%)	(89%)	(90%)
問10. 精検受診率・未受診率の集計 (5項目)	集団	R4	86%	83%	86%
		R3	(84%)	(77%)	(84%)
	個別	R4	69%	65%	69%
		R3	(81%)	(82%)	(83%)
問11. がん発見率の集計 (4項目)	集団	R4	73%	71%	73%
		R3	(68%)	<b>(50%)</b>	(68%)
	個別	R4	63%	63%	62%
		R3	(71%)	(80%)	(72%)
問12. 陽性反応適中度の集計 (4項目)	集団	R4	<b>44%</b>	<b>43%</b>	<b>44%</b>
		R3	(61%)	<b>(38%)</b>	(61%)
	個別	R4	<b>38%</b>	<b>37%</b>	<b>38%</b>
		R3	(65%)	(73%)	(67%)
問13. 早期がん割合の集計 (4項目)	集団	R4	71%	<b>57%</b>	68%
		R3	(76%)	<b>(50%)</b>	(76%)
	個別	R4	<b>57%</b>	<b>58%</b>	<b>57%</b>
		R3	(78%)	(80%)	(79%)
問14. 粘膜内がんの集計 (1項目)	集団	R4	70%	<b>57%</b>	70%
		R3	(74%)	<b>(50%)</b>	(74%)
	個別	R4	73%	69%	73%
		R3	(76%)	(82%)	(83%)

注 前年度の実施率については、令和4年度開催時と集計方法が異なるため、数値が異なる場合がある。

## 令和4年度 市町村チェックリスト実施率（特に実施率が低い項目）

		胃X	胃内	大腸
問3. 受診者及び要精検者への説明	集団	40%	47%	40%
	個別	17%	13%	17%
問3-1. 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト1. 受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか	集団	21/27	3/5	21/27
	個別	8/16	5/13	8/16
問3-2. 要精検者全員に対し、受診可能な精密検査機関名（医療機関名）の一覧を提示しましたか	集団	6/27	2/5	6/27
	個別	0/16	0/13	0/16
問3-2-1. 上記【問3-2】の一覧に掲載したすべての精密検査機関には、あらかじめ精密検査結果の報告を依頼しましたか	集団	5/27	2/5	5/27
	個別	0/16	0/13	0/16

問4. 精密検査結果の把握、精密検査未受診者の特定と受診勧奨	集団	84%	80%	84%
	個別	53%	51%	53%
問4-2. 精密検査方法及び、精密検査（治療）結果が不明の者については、本人もしくは精密検査機関への照会等により、結果を確認しましたか	集団	24/27	4/5	23/27
	個別	9/16	7/13	9/16
問4-4. 過去5年間の精密検査方法及び、精密検査（治療）結果を記録していますか	集団	20/27	5/5	21/27
	個別	6/16	4/13	6/16
問4-5. 精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか	集団	22/27	4/5	22/27
	個別	9/16	7/13	9/16
問4-6. 精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか	集団	23/27	3/5	23/27
	個別	5/16	4/13	5/16

		胃X	胃内	大腸
問6. 検診機関（医療機関）の質の担保	集団	30%	23%	29%
	個別	24%	22%	25%
問6-1. 委託先検診機関（医療機関）を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか	集団	21/27	3/5	21/27
	個別	9/16	5/13	9/16
問6-1-1. 仕様書（もしくは実施要綱）の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか	集団	17/27	3/5	15/27
	個別	6/16	4/13	7/16
問6-1-2. 検診終了後に、委託先検診機関（医療機関）で仕様書（もしくは実施要綱）の内容が遵守されたことを確認しましたか	集団	10/27	1/5	10/27
	個別	3/16	2/13	3/16
問6-2. 検診機関（医療機関）に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	集団	3/27	0/5	3/27
	個別	3/16	3/13	3/16
問6-2-1. 「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか	集団	3/27	0/5	3/27
	個別	3/16	3/13	3/16
問6-2-2. 検診機関（医療機関）毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか	集団	2/27	1/5	2/27
	個別	2/16	2/13	2/16
問6-2-3. 上記の結果をふまえ、課題のある検診機関（医療機関）に改善策をフィードバックしましたか	集団	0/27	0/5	0/27
	個別	1/16	1/13	1/16

問12. 陽性反応適中度の集計	集団	44%	43%	44%
	個別	38%	37%	38%

問13. 早期がん割合の集計	集団	71%	57%	68%
	個別	57%	58%	57%

問14. 粘膜内がんの集計	集団	70%	57%	70%
	個別	73%	69%	73%

注 各問については、実施率で記載  
各項目については、実施市町村数／対象市町村数で記載  
（いずれも赤字は60%以下）

# 胃がん、大腸がん検診 検診機関チェックリスト実施率

## 検診機関チェックリスト実施率とは

市町村が行うがん検診を受託する検診機関において、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

# 1 胃がん検診

## 令和5年度 胃がん検診のためのチェックリスト（検診実施機関用）実施率

※ 赤字は実施率が70%以下の項目、括弧内は内訳（実施数/調査対象数）。

	令和4年度	令和5年度
回答検診機関数	21 機関	24 機関
1. 受診者への説明（6項目）	97%	96%
2. 問診、胃部エックス線撮影、胃内視鏡検査の精度管理（10項目）	91%	89%
(8) 胃部エックス線撮影に携わる技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得しているか※ ※ 撮影技師が不在で医師が撮影している場合は除く	55% (11/20)	48% (11/23)
3. 胃部エックス線読影の精度管理（5項目）	95%	94%
4. 胃内視鏡画像の読影の精度管理（5項目）	72%	80%
(2) 胃内視鏡検診運営委員会（仮称）、もしくはそれに相当する組織が設置する読影委員会により、ダブルチェック※を行っているか ※ ダブルチェックとは、内視鏡検査医以外の読影委員会のメンバーが内視鏡画像のチェックを行うことである。ただし、専門医※※が複数勤務する医療機関で検診を行う場合には、施設内での相互チェックをダブルチェックの代替方法とすることができる(注2) ※※ 専門医の条件（資格）は下記(3)参照	43% (8/19)	50% (11/22)
(3) 読影委員会のメンバーは、日本消化器がん検診学会認定医もしくは総合認定医、日本消化器内視鏡学会専門医のいずれかの資格を取得しているか	43% (8/19)	55% (12/22)
5. システムとしての精度管理（6項目）	83%	82%
(4) 撮影や読影向上のための検討会や委員会※（自施設以外の胃がん専門家※※を交えた会）を設置しているか。もしくは、市区町村や医師会等が設置した検討会や委員会に参加しているか ※ 胃内視鏡では、胃内視鏡検診運営委員会（仮称）、もしくはそれに相当する組織を指す。 ※※ 当該検診機関に雇用されていない胃がん検診専門家	48% (10/21)	46% (11/24)

注2 日本消化器がん検診学会発行「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」（2017年発行）参照

## 2 大腸がん検診

### 令和5年度 大腸がん検診のためのチェックリスト（検診実施機関用）実施率

※ 赤字は実施率が80%以下の項目、括弧内は内訳（実施数/調査対象数）。

	令和4年度	令和5年度
回答検診機関数	24 機関	27 機関
1. 受診者への説明（6項目）	97%	96%
2. 検査の精度管理（3項目）	95%	93%
(2) 便潜血検査キットのキット名、測定方法（手法もしくは自動分析装置法）、カットオフ値（定性法の場合は検出感度）を仕様書※にすべて明記しているか ※ 仕様書とは委託元市区町村との契約時に提出する書類のこと（仕様書以外でも何らかの形で委託元市区町村に報告していればよい）	84% (20/24)	78% (21/27)
3. 検体の取り扱い（7項目）	93%	93%
4. システムとしての精度管理（5項目）	83%	88%
(1) 受診者への結果の通知・説明、またはそのための市区町村への結果報告は、検体回収後2週間以内になされているか	67% (16/24)	75% (20/27)
(4) 自施設の検診結果について、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等のプロセス指標値を把握※しているか ※ 冒頭の解説のとおり、検診機関が単独で算出できない指標値については、自治体等と連携して把握すること。また自治体等が集計した指標値を後から把握することも可である	80% (19/24)	82% (22/27)
(5) プロセス指標値やチェックリストの遵守状況に基づいて、自施設の精度管理状況を評価し、改善に向けた検討を行っているか。また、都道府県の生活習慣病検診等管理指導協議会、市区町村、医師会等から指導・助言等があった場合は、それを参考にして改善に努めているか	80% (19/24)	89% (24/27)